

令和5年度学部入学者選抜に関する自己点検・評価報告書

令和5年6月7日

教育委員会

1 入学者受入方針に即した入学者選抜の実施方法

令和5年度入学者選抜は、各学部が定める入学者受入方針に即して、以下の種別・実施方法のとおり実施した。

種別		実施方法
一般選抜	前期日程 後期日程	1 入学者選抜方法 大学入学共通テスト・第2次試験の成績及び調査書等の内容を総合して行う。 【2段階選抜】 入学志願者が募集人員を大幅に上回り、第2次試験を適切に実施することが困難な場合には、第1段階の選抜を行い、その合格者について第2段階の選抜として個別学力検査等(第2次試験)を課す。 ※ 第1段階選抜 本学が指定する令和5(2023)年度大学入学共通テストの教科・科目の得点を合計したもの(素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とし、英語はリーディング・リスニングの素点を合計した200点満点。)を入学志願者の成績とし、学部別に高得点順に一定数(【前期日程】募集人員の約3倍、【後期日程】募集人員の約6倍)を合格者とする。 2 試験教科 (1) 大学入学共通テスト ○ 全学部 ・国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語 (2) 第2次試験 前期日程 ○ 商学部・経済学部・法学部・社会学部 ・国語、数学、外国語(英語)、地理歴史 ○ ソーシャル・データサイエンス学部 ・国語、数学、外国語(英語)、総合問題 後期日程 ○ 経済学部・ソーシャル・データサイエンス学部 ・数学、外国語(英語) 3 配点 ※ 別紙参照

種別		実施方法
特別選抜	学校推薦型選抜	1 入学者選抜方法 (1) 第1段階選抜 各学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する令和5(2023)年度大学入学共通テストの教科・科目の得点(素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とし、英語はリーディング・リスニングの素点を合計した200点満点。)を合計した成績が各学部一般選抜前期日程試験出願者の第1段階選抜における順位(商学部:上位258位、経済学部:上位258位、法学部:159位、社会学部:220位、SDS学部:60位)相当の得点以上であった者を合格者とする。 (2) 第2次試験 第1段階選抜合格者に対して行い、推薦書、調査書などの提出書類並びに小論文、面接試験及び大学入学共通テストの成績により受験者の能力、学習意欲、適性等を総合的に判定する。 2 試験教科 (1) 大学入学共通テスト ○ 全学部 ・国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語 (2) 第2次試験 ○ 全学部 ・小論文、面接 3 配点 ※ 別紙参照

種別		実施方法
特別選抜	外国学校出身者 選抜	1 入学者選抜方法 大学入学共通テストを免除し、第1次選抜と第2次選抜に分けて実施。 (1) 第1次選抜 学力試験及び出願書類により行う。 (2) 第2次選抜 第1次選抜合格者に対する面接及び上記(1)の学力試験等の成績を総合して行う。 2 試験教科等 (1) 第1次選抜（学力試験） 外国語、小論文 (2) 第2次選抜 面接 3 配点 ※ 別紙参照
	私費外国人留学生 選抜	1 入学者選抜方法 学力試験の成績及び提出書類により総合的に判断して行う。 2 試験教科等 ○ 日本留学試験（日本語、総合科目、数学（コース1）） ○ 英語（TOEFL（iBT）） ○ 学力試験（日本語） 3 配点 ※ 別紙参照

2 入学者選抜の実施状況

令和5年度入学者選抜は、以下に示す日程のとおり実施した。

(1) 一般選拔

○ 前期日程

【本試験】

- ・ 大学入学共通テスト (令和5年1月14日(土)、15日(日))
- ・ 第2次試験 (〃 2月25日(土):国語、数学
2月26日(日):外国語(英語)、
地理歴史、総合問題)

【追試験】

- ・ 大学入学共通テストの成績及び調査書により実施

○ 後期日程

【本試験】

- ・ 大学入学共通テスト (〃 1月14日 (土)、15日 (日))
- ・ 第2次試験 (〃 3月12日 (日) : 数学、外国語 (英語))

(2) 学校推薦型選抜

- ・ 大学入学共通テスト (〃 1月14日 (土)、15日 (日))
- ・ 第2次試験 (〃 2月9日 (木) : 小論文、面接)

(3) 外国学校出身者選抜

- ・ 第1次選抜 (" 2月26日(日): 外国語(英語)、小論文)
- ・ 第2次選抜 (" 3月3日(金): 面接)

(4) 私費外国人留学生選抜

【本試験】

- ・ 学力試験 (〃 1 月 30 日 (月) : 日本語)

【追試験】

- ・ 学力試験 (〃 2月18日 (土) : 日本語)

3 志願者の状況

教育委員会委員長は、入学者選抜実施専門委員会や教育委員会、部局長会議等において、次の①の資料に基づき報告し、志願者数が順調に推移していることを確認した。

- ①「令和5年度学部入学者数詳細」

4 実入学者の状況

教育委員会委員長は、役員懇談会、部局長会議、教育研究評議会、経営協議会、役員会等において、各学部長は、教授会において、次の①②の資料に基づき報告し、実入学者数が「入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る」状況になっていないことを確認した。

また、教育委員会委員長は、教育委員会において、次の①②③の資料に基づき報告し、各学部の入学者選抜の検討を依頼した。

- ①「令和5年度学部入学者数詳細」
- ②「令和5年度学部入学者選抜実施結果」
- ③「令和5年度学部入学者選抜一般選抜実施結果詳細」

5 上記のほか、必要と認められる事項

各学部及び入試課は、「自己点検・評価シート」に基づき自己評価を実施し、その結果を教育委員会に報告した。

6 関係者等からの意見聴取

教育委員会委員長は、役員懇談会、教育委員会、部局長会議において、次の④の資料に基づき報告し、今後の入学者選抜等を検討する際の参考資料として提供した。

- ④「第10回（2022年度）テレメール全国一斉進学調査 基本調査報告書」

7 点検・評価結果（総括）

教育委員会は、1から6までにあるとおり、令和5年度入学者選抜が概ね適切に実施されていることを確認した。

【参考１】入学定員・募集人員等

学部	学科	入学定員	募集人員		
			前期日程 (注１)	後期日程	学校推薦型 選抜
商学部	経営学科 商学科	258人	243人	—	15人
経済学部	経済学科	258人	185人	58人	15人
法学部	法律学科	159人	149人	—	10人
社会学部	社会学科	220人	210人	—	10人
ソーシャル・データ サイエンス学部	ソーシャル・データ サイエンス学科	60人	30人	25人	5人
総計		955人	817人	83人	55人

(注１) 募集人員には、各学部（ソーシャル・データサイエンス学部を除く。）とも外国学校出身者選抜（５人以内）を含む。

【参考２】出題教科・科目等、配点

(1) 一般選抜

① 前期日程

教科	科目等	備考
国語	国語総合	
数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A(全範囲)、数学B（数列、ベクトル）	
外国語 (英語)	英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ）	聞き取り・書き取り試験を行う。
地理歴史	世界史B、日本史B、地理Bのうちから試験場において１科目を選択します。	商、経済、法、社会学部のみ
総合問題	総合問題（注１）	ソーシャル・データサイエンス学部のみ

(注１)「総合問題」は、社会において数理的なものの考え方を応用する力、情報技術の活用について自ら試行する姿勢を確認するための科目。

区分		国語	地理歴史	数学 (注 1)	理科 (注 2・3)	外国語 (注 5)	総合 問題	計	総点
			公民(注 3)						
商学部	大学入学 共通テスト	50	50	50	50	50	－	250	1,000
	第 2 次試験	125	125	250		250	－	750	
経済学部	大学入学 共通テスト	40	40	40	50	40	－	210	1,000
	第 2 次試験	110	160	260		260	－	790	
法学部	大学入学 共通テスト	50	70	50	50	50	－	270	1,000
	第 2 次試験	110	160	180		280	－	730	
社会学部	大学入学 共通テスト	20	20	20	100	20	－	180	1,000
	第 2 次試験	180	230	130		280	－	820	
ソーシャル・デ ータサイエンス 学部	大学入学 共通テスト (注 4)	40	80 又は 40	40	40 又は 80	40	－	240	1,000
	第 2 次試験	100	－	330		230	100	760	

(注 1) 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程修了（見込み）者に限る。

(注 2) 【商学部・経済学部・法学部・社会学部】

大学入学共通テストの理科については、理科①から 2 科目を選択するか、理科②から 1 科目を選択する。理科①の 2 科目と理科②の 1 科目を受験した場合は、点数の高い方を用いて選抜を行う。理科②を 2 科目受験している場合は、第 1 解答科目（前半に受験した科目）の成績を用いる。

(注 3) 【ソーシャル・データサイエンス学部】

地理歴史・公民から最大 2 科目及び理科②から最大 2 科目で合計 3 科目を課す。ただし、地理歴史・公民から 2 科目を選択した場合には、理科②から 1 科目に代えて理科①から 2 科目を選択することを認める。

地理歴史・公民から 2 科目、理科①から 2 科目、理科②から 1 科目受験した場合は、合計点が最大となる組合せを用いて選抜を行う。地理歴史・公民から 2 科目、理科②から 2 科目受験した場合は、合計点が最大となる組合せを用いて選抜を行う。

【参考】 ソーシャル・データサイエンス学部における地理歴史・公民及び理科の選択パターンは以下の 3 種類となる。

(ア) 地理歴史・公民から 1 科目＋理科②から 2 科目

(イ) 地理歴史・公民から 2 科目＋理科②から 1 科目

(ウ) 地理歴史・公民から 2 科目＋理科①から 2 科目

(注 4) ソーシャル・データサイエンス学部における大学入学共通テストの配点は、地理歴史・公民から 2 科目用いる場合（注 3 の(イ)(ウ)）は上段の配点、地理歴史・公民から 1 科目用いる場合（注 3 の(ア)）は下段の配点となる。

(注 5) 外国語は第 2 次試験では「英語」に読み替える。

② 後期日程

教科	科目	備考
外国語 (英語)	英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ）	聞き取り・書き取り試験は行わない。
数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ 数学A（全範囲）、数学B（数列、ベクトル）	数学Ⅲを学習していない受験者が不利にならないように、選択問題を用いる等の十分な配慮を行う。

区分		国語	地理歴史 公民(注1)	数学 (注2)	理科 (注3)	外国語 (注4)	計	総 点
経済学部	大学入学 共通テスト	40	40	40	40	40	200	1,000
	第2次試験			400		400	800	
ソーシャル・デ- タサイエンス学部	大学入学 共通テスト	40	40	40	40	40	200	1,000
	第2次試験			500		300	800	

(注1) 大学入学共通テストで地理歴史・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目（前半に受験した科目）の成績を用いる。

(注2) 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程修了（見込み）者に限る。

(注3) 大学入学共通テストの理科については、「基礎を付した科目」（理科グループ①）の2科目と「基礎を付していない科目」（理科グループ②）の1科目を受験した場合は、点数の高い方を用いて選抜を行う。「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目（前半に受験した科目）の成績を用いる。

(注4) 外国語は第2次試験では「英語」に読み替える。

(2) 学校推薦型選抜

教科	国語	地理 歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	推薦書 調査書	自己 推薦書	合計
大学入学 共通テスト	50	50		50	50	50					250
第2次試験							300	150	40	10	500

学校推薦型選抜に係る令和5(2023)年度大学入学共通テストの利用教科・科目名						
			第1欄		第2欄	
教科	グループ	出願科目	受験科目数		受験科目数	
国語		「国語」	◎	1	◎	1
地理歴史		「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	○ ○ ○	2	○ ○ ○	1
公民		「倫理、政治・経済」	○		○	
数学	①	「数学Ⅰ・数学A」	◎	1	◎	1
	②	「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	○ ○ ○	1	○ ○ ○	1
※ ただし、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を解答できる者は、高等学校等においてこれらの科目を履修した者に限ります。						
理科	①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	○ ○ ○ ○	から 2 又は		
	②	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	○ ○ ○ ○			
外国語		「英語」(リスニングを含みます) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	○ ○ ○ ○ ○	1	○ ○ ○ ○ ○	1

※1 ◎印は入学志願者全員が受験しなければならない科目を示し、○印は出願教科・科目区分欄ごとに受験科目数欄の数だけ科目を選んで、受験しなければならないことを示す。

※2 第1欄と第2欄について

【商学部・経済学部・法学部・社会学部】

第1欄は、本学部が一般選抜前期日程試験において指定する教科・科目と一致している。第1欄の要件を満たさない入学志願者についてのみ、第2欄を適用する。したがって、「地理歴史・公民」の中から2科目を受験した者は、理科グループ②（「基礎を付していない科目」）を2科目受験しても、第1欄が適用される。

第1欄適用者が理科グループ②を2科目受験したときは、第1解答科目（前半に受験した科目）の成績を用いる。第1欄適用者が理科グループ①（「基礎を付した科目」）の2科目と理科グループ②の1科目を受験した場合は、得点の高い方の成績を用いる。

【ソーシャル・データサイエンス学部】

第1欄及び第2欄の両方の要件を満たす入学志願者については、得点の高い方の成績を用いる。

第1欄適用の場合の得点は、理科グループ②を2科目受験したときは、得点の高い方の成績を用いる。理科グループ①（「基礎を付した科目」）の2科目と理科グループ②の1科目を受験した場合は、得点の高い方の成績を用いる。

第2欄適用の場合の得点は、「地理歴史・公民」を2科目受験したときは、得点の高い方の成績を用いる。

※3 英語の得点は、リーディング・リスニングの素点を合計した200点満点とする。

※4 本学がこの表の第1欄又は第2欄で指定する令和5年度大学入学共通テストの教科・科目の全てを受験していない者は無資格者として扱い、第2次試験の受験は認めない。

(3) 外国学校出身者選抜

	教科	科目	備考
第 1 次選抜	外国語 (英語)	英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ）	聞き取り・書き取り試験を行う。
	小論文	社会・文化に関する論文又は資料等を示して理解力・判断力・表現力などをみる。	
第 2 次選抜	面接		

	外国語	小論文	面接	計
第 1 次選抜	100	100		200
第 2 次試験	100	100	100	300

(4) 私費外国人留学生選抜

区分	科目	満点	本学配点
日本留学試験	日本語	400	300
	総合科目	200	400
	数学（コース 1）	200	300
	小計	800	1,000
英語	TOEFL（iBT）	120	420
本学学力試験	日本語	116	580
合計			2,000

1 入学者受入方針に即した入学者選抜の実施方法

令和5年度大学院入学者選抜は、各研究科が定める入学者受入方針に即して、募集要項等に基づいて実施している。

2 入学者選抜の実施状況

令和5年度大学院入学者選抜は、各研究科が募集要項等で定める実施日程のとおり実施した。

3 志願者の状況

教育委員会委員長は、部局長会議、教育研究評議会において、次の①の資料に基づき報告し、志願者・合格者数等を確認している。

①令和5(2023)年度(令和4(2022)年度実施)大学院入学者選抜の状況

4 実入学者の状況

教育委員会委員長は、部局長会議、教育研究評議会、経営協議会、役員会において、また、各研究科長を通じて教授会において、次の①の資料に基づき報告した。

①令和5(2023)年度大学院入学者数について

5 上記のほか、必要と認められる事項

各研究科は、「自己点検・評価シート」に基づき自己評価を実施し、その結果を教育委員会に報告した。

6 関係者等からの意見聴取

教育委員会委員長は、経営協議会において学外委員の意見聴取を行ったほか、部局長会議、教育研究評議会、役員会において、また、各研究科長を通じて教授会において、意見聴取を行った。

7 点検・評価結果(総括)／改善すべき点等

教育委員会は、1から6までにあるとおり、令和5年度大学院入学者選抜が概ね適切に実施されていることを確認した。

ただし、入学定員を下回っている一部の研究科・課程・専攻については、当該状況を継続的に把握し、改善のための取組を進めていく必要がある。

令和5年度大学院入学者選抜に関する自己点検・評価報告書

令和5年12月20日

教育委員会

1 入学者受入方針に即した入学者選抜の実施方法

令和5年度大学院入学者選抜は、各研究科が定める入学者受入方針に即して、募集要項等に基づいて実施している。

2 入学者選抜の実施状況

令和5年度大学院入学者選抜は、各研究科が募集要項等で定める実施日程のとおり実施した。

3 志願者の状況

教育委員会委員長は、部局長会議、教育研究評議会において、次の①の資料に基づき報告し、志願者・合格者数等を確認している。

①令和5(2023)年度(令和4(2022)年度実施)大学院入学者選抜の状況

4 実入学者の状況

教育委員会委員長は、部局長会議、教育研究評議会、経営協議会、役員会において、また、各研究科長を通じて教授会において、次の①の資料に基づき報告した。

①令和5(2023)年度大学院入学者数について

5 上記のほか、必要と認められる事項

各研究科は、「自己点検・評価シート」に基づき自己評価を実施し、その結果を教育委員会に報告した。

6 関係者等からの意見聴取

教育委員会委員長は、経営協議会において学外委員の意見聴取を行ったほか、部局長会議、教育研究評議会、役員会において、また、各研究科長を通じて教授会において、意見聴取を行った。

7 点検・評価結果(総括)／改善すべき点等

教育委員会は、1から6までにあるとおり、令和5年度大学院入学者選抜が概ね適切に実施されていることを確認した。

ただし、入学定員を下回っている一部の研究科・課程・専攻については、当該状況を継続的に把握し、改善のための取組を進めていく必要がある。